【授業科目】病態生理学 Pathophysiology

| 担当教員 | | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィス アワー |
|---|---|--|------|--|---|---|-----------------------------|
| 山口 央輝、吉田 和枝 | | 1 年次 前 期 | 選択 | 2 | 30 | 講義 | 巻末 掲載 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法 | いかなる現場でも遭遇する可能性が高い、Common disease を中心とするが、今までに経験した症例についても積極的に取り扱い、それら疾患の病態生理や、病態生理に基づいた対応について双方向性の講義を行う。病態は正常の解剖・生理の知識があって初めて理解できるものであり、適宜復習しながら進める事になる。 課題に対するフィードバック方法/提出されたレポートにコメントする事で行なう。或は全体の総評コメントを授業内で提示する。 | | | | | | |
| 授業の 位置づけ | 技業内で促示する。 | | | | | | |
| 到達目標 (履修者が到達 すべき目標) | 学習者は、本カリキュラム修了後、 1) Common disease の病態生理を説明することができる 2) 経験のない疾患も、病態生理を元に病態理解ができる 3) それら理解を元にした看護を実践することができる | | | | | | |
| 時間外学習に必要な 内容・時間 | 全講義に共通の事前課題として、各テーマについて自身の経験や課題を省察した上で参加してください。Paper patient を元にした事前課題が配布される場合があります。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。 | | | | | | |
| 授業計画 | 1. 総論 15コマの概要につ 2. 呼吸器疾患の原因と機序 3. 循環器疾患の原因と機序 4. 消化器疾患、肝胆膵疾患 場別塞 5. 内分泌疾患の原因と機序 6. 腎・泌尿器疾患の原因と機序 6. 腎・心臓に大など 7. 電解質・代謝、糖尿病、 8. 血液疾患の原因と機序 9. 膠原病、アレルギー、第アレルギー、第アレルギー性鼻炎、自 10. 感染症の原因と機序:耳11. 皮膚・筋骨格系疾患の原因と機序:耳12. 神経疾患の原因と機序:12. 神経疾患の原質を関係を表して、13. 精神疾患の原因と機序により、15. 病態生理から考える臨尿 | 字: 取取原原 取 原原 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 取 | た | 支冠・病腎患白及症病、大調息、大調・水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の | えに 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変に 大変 | 気胸など圧、弁膜症など炎・肝硬変、腎 管結、 (Ca)、ラキ 症焼かれん、ラキ 症ボルルん、ニック | 1~13回 山口 14、15回 吉田 |
| 評価方法 評価基準 | ・インタラクティブなディスカッションによる、直接観察評価(40%) ・レポート評価(60%) | | | | | | |
| 教科書 | 家名書等 病気がみえる (メディックメディア) 看護のための臨床病態学 (南山堂) 木邑冨久子「シンプル生理学」(南江堂) | | | | | | |